

**業務用ビデオカメラ「XA55/XA40」を発売
機動力の高い「XA」シリーズで初めて4K撮影を実現**

キヤノンは、業務用4Kビデオカメラの新製品として、1.0型CMOSセンサー搭載で高画質な4K/30P映像を撮影可能な「XA55」、および小型・軽量ながら4K/30P撮影にも対応した「XA40」を4月12日より順次発売します。



XA55



XA40

*両機種とも、ハンドルユニットはオプションです。

業務用ビデオカメラ「XA」シリーズは、放送局を中心に、取材現場や、ドキュメンタリー、イベントでの撮影など、高い機動力を要求される撮影現場を中心に幅広く使用されています。新製品2機種は、同シリーズのビデオカメラで初めて、4Kでの撮影に対応しました。「XA55」は1.0型CMOSセンサーを搭載し、高画質と豊かな映像表現を求めるプロユーザーに、「XA40」は小型・軽量で、機動性と操作性を求めるプロユーザーやハイアマチュアユーザーに適しています。

■ 1.0型CMOSセンサーと4K対応レンズ搭載の高画質モデル「XA55」

機動力の高い「XA」シリーズで初めて1.0型CMOSセンサー、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 6」を搭載し、4K対応の光学15倍ズームレンズを採用することで、広角約25.5mmから望遠約382.5mm相当^{※1}の全ズーム域で高画質な4K/30P映像の撮影を実現しています。また、動画撮影に適した滑らかなAF動作と高い追従性を有する「デュアルピクセルCMOS AF」により、厳しい合焦精度が求められる4K撮影時でも、タッチパネルを用いた直感的な操作で、素早く高精度なピント合わせが可能です。

■ 4K映像を光学20倍ズームで撮影可能な小型・軽量モデル「XA40」

1/2.3型CMOSセンサー、光学20倍ズームレンズ、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 6」を採用し、ビデオカメラ本体の大きさは約109mm(幅)×84mm(高さ)×182mm(奥行き)、本体質量は約730g^{※2}と小型・軽量ながら、広角約29.3mmから望遠約601mm相当^{※1}の全ズーム域で4K/30Pの映像を撮影可能です。また、4Kセンサーから得られる情報を有効活用したフルHD記録「Over Sampling HD Processing」によって、フルHD画質についても従来機種「XA30」(2015年12月発売)から解像感の向上を実現しています。

| 製品名 | 希望小売価格 | 発売日 |
|------|--------|------------|
| XA55 | オープン価格 | 2019年6月上旬 |
| XA40 | オープン価格 | 2019年4月12日 |

※1 35mmフィルム換算。手ブレ補正の「ダイナミックモード」時を除く。
※2 グリップベルト含む。

- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90004
- 業務用ビデオカメラホームページ : canon.jp/prodv

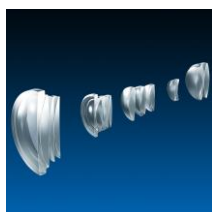
<XA55 の主な特長>

1. 1.0 型 CMOS センサーと 4K 対応レンズ搭載の高画質モデル

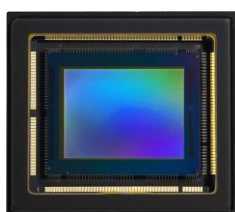
- ・機動力の高い「XA」シリーズで初めて 1.0 型 CMOS センサーを搭載し、大型センサーならではのボケ味を生かした映像表現が可能。また、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 6」との組み合わせにより、低照度環境でもノイズの少ない美しい映像の撮影を実現。
- ・4K 対応の光学 15 倍ズームレンズを採用し、広角約 25.5mm から望遠約 382.5mm 相当の全ズーム域で高画質な 4K/30P 映像の撮影を実現。非球面レンズやスーパーUD レンズ※を含む 18 枚のレンズを搭載するなど、キヤノンの光学技術を結集。放送局の取材現場やイベント撮影などに求められる高画質と機動性を両立。
- ・5 軸（光軸回転・水平回転・縦回転・上下・左右）方向の手振れを補正する「ダイナミックモード」を搭載することにより、歩きながらの撮影でも、映像の揺れを大幅に軽減し、安定した見やすい映像に補正。
- ・9 枚絞り羽根の採用により、開口形状が円形に近い状態を保てるため、柔らかく自然なボケ味を実現。また、奇数枚数の絞り羽根は光芒の数が 2 倍になる現象を利用し、光が柔らかく拡散した映像表現が可能。
- ・4K センサーから得られる情報を有効活用した「Over Sampling HD Processing」によって、より解像感の高いフル HD 記録が可能。

※ Super Ultra Low Dispersion Lens=蛍石とほぼ同等の効果を備えた特殊低分散レンズ。

4K 対応光学 15 倍ズームレンズ



1.0 型 CMOS センサー



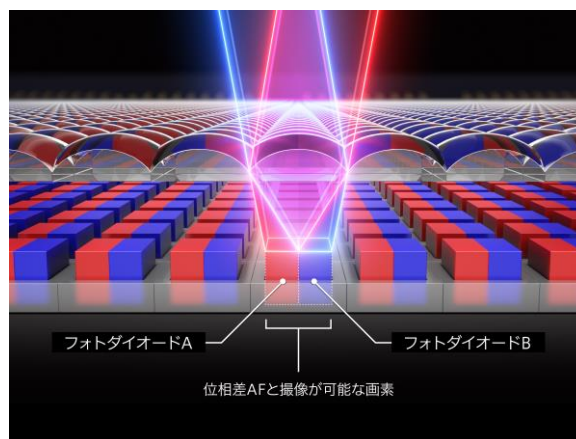
映像処理プラットフォーム
DIGIC DV 6



高画質を実現するキヤノンの技術

2. 「デュアルピクセル CMOS AF」の採用による高速 AF を実現

- ・厳しい合焦精度が求められる 4K 撮影時でも、動画撮影に適した滑らかな AF 動作と高い追従が可能な「デュアルピクセル CMOS AF」により、タッチパネルを用いた直感的な操作で、素早く高精度にピント合わせが可能。
- ・動く被写体にピントを合わせ続ける「コンティニューアス AF」を、撮像画面の縦横それぞれ約 80% の広い測距エリア内で操作可能。さらに、「コンティニューアス AF」を行いながら高精度の「顔検出 AF」も可能になるなど、充実した AF 機能を搭載し、さまざまな撮影スタイルに合わせた素早いフォーカス調整が可能。
- ・マニュアルフォーカス時に、高精度なピント合わせをサポートする「デュアルピクセルフォーカスガイド」機能を搭載。合焦・非合焦情報だけでなく、ピント位置が被写体に対し手前にある（前ピン）か、奥にあるか（後ピン）も表示できるため、合焦までのフォーカスリングの回転方向を瞬時に判別可能。



デュアルピクセル CMOS AF の構造

<XA40の主な特長>

1. 4K映像を光学20倍ズームで撮影可能な小型・軽量モデル

- ・1/2.3型CMOSセンサー、光学20倍ズームレンズ、映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 6」を採用することにより、広角約29.3mmから望遠約601mm相当の全ズーム域で4K/30Pの映像を撮影可能。
- ・ビデオカメラ本体の大きさは約109mm（幅）×84mm（高さ）×182mm（奥行き）、質量は約730gと小型・軽量を実現し、機動力と操作性を求めるプロユーザーやハイアマチュアに好適。
- ・5軸（光軸回転・水平回転・縦回転・上下・左右）方向の手振れを補正する「ダイナミックモード」を搭載することにより、歩きながらの撮影でも、映像の揺れを大幅に軽減し、安定した見やすい映像に補正。
- ・4Kセンサーから得られる情報を有効活用した「Over Sampling HD Processing」によって、より高精細なフルHD記録が可能となり、フルHD画質についても従来機種からの解像感の向上を実現。

2. プロユーザーやハイアマチュアユーザーの高い要求に応えるさまざまな機能

- ・撮影スピードが0.4倍から最大1,200倍速まで選択できる「スロー&ファストモーション」^{※1}を搭載し、表現豊かな映像制作が可能。
- ・ビューファインダー（0.24型、約156万ドット相当）は、上方約45°に調節可能なチルト式を採用し、ローアングルの撮影時に有効。
- ・ズームキーはシーソー式を採用し、業務用・ハイアマチュア向けに適したズームの操作感を実現。
- ・高音質の記録が可能なりニアPCM 4ch設定^{※2}に対応し、別売のハンドルユニットHDU-1を装着することで、内蔵マイク（2ch）で周辺の音を録音しながら、ピンマイク（1ch）でレポーターの声、マイク（1ch）でインタビューを受ける人の声の最大4チャンネルを使用するといった、多彩なオーディオ設定が可能。

※1 記録フレームレートおよび再生フレームレートは、記録モードにより異なります。

※2 1280×720記録時は選択不可。

<ご参考>

2019年4月8日（月）から11日（木）まで米国ラスベガスで開催される放送・映像制作機器の展示会「NAB Show 2019」のキヤノンブースにおいて、“XA55/XA40”を展示します。

<業務用ビデオカメラの市場動向>

日本では2018年12月より新4K8K衛星放送が開始し、他の先進国でも4K放送の実用化に向けた取り組みが始まっています。また、映像コンテンツの制作現場では、高画質に加えたさらなる付加価値として、低価格でありながら操作性や実用性に優れた撮影機材が求められています。（キヤノン調べ）

<“XA55/XA40”の主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。